

球磨村告示第51号

令和5年第9回球磨村議会定例会を次のとおり招集する。

令和5年11月29日

球磨村長 松谷 浩一

- 1 期 日 令和5年12月8日
  - 2 場 所 球磨村議会議場
- 

○開会日に応招した議員

永椎樹一郎君	西林 尚賜君
宮本 宣彦君	板崎 壽一君
東 純一君	犬童 勝則君
嶽本 孝司君	舟戸 治生君
高澤 康成君	田代 利一君

---

12月11日に応招した議員

同 上

---

12月12日に応招した議員

//

---

12月13日に応招した議員

//

---

○応招しなかった議員

---

---

令和5年 第9回 球磨村議会定例会会議録(第1日)

令和5年12月8日(金曜日)

場所 球磨村議会議場

---

議事日程(第1号)

令和5年12月8日 午前10時00分開会

- 日程第1 会議録署名議員の指名について
- 日程第2 会期の決定について
- 日程第3 一部事務組合議会報告
- 日程第4 承認第8号 専決処分の報告及び承認について(令和5年度球磨村一般会計補正予算第8回)
- 日程第5 議案第59号 工事請負変更契約の締結について(村道第二田代線道路災害復旧工事(7月災)その2)
- 日程第6 議案第60号 球磨村一般職の職員の給与に関する条例及び球磨村一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第7 議案第61号 球磨村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
- 日程第8 議案第62号 令和5年度球磨村一般会計補正予算について
- 日程第9 議案第63号 令和5年度球磨村国民健康保険特別会計補正予算について
- 日程第10 議案第64号 令和5年度球磨村後期高齢者医療特別会計補正予算について
- 日程第11 議案第65号 令和5年度球磨村介護保険特別会計補正予算について

---

本日の会議に付した事件

- 日程第1 会議録署名議員の指名について
- 日程第2 会期の決定について
- 日程第3 一部事務組合議会報告
- 日程第4 承認第8号 専決処分の報告及び承認について(令和5年度球磨村一般会計補正予算第8回)
- 日程第5 議案第59号 工事請負変更契約の締結について(村道第二田代線道路災害復旧工事(7月災)その2)
- 日程第6 議案第60号 球磨村一般職の職員の給与に関する条例及び球磨村一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

- 日程第7 議案第61号 球磨村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について  
日程第8 議案第62号 令和5年度球磨村一般会計補正予算について  
日程第9 議案第63号 令和5年度球磨村国民健康保険特別会計補正予算について  
日程第10 議案第64号 令和5年度球磨村後期高齢者医療特別会計補正予算について  
日程第11 議案第65号 令和5年度球磨村介護保険特別会計補正予算について
- 

出席議員（10名）

1番 永椎樹一郎君	2番 西林 尚賜君
3番 宮本 宣彦君	4番 板崎 壽一君
5番 東 純一君	6番 犬童 勝則君
7番 嶽本 孝司君	8番 舟戸 治生君
9番 高澤 康成君	10番 田代 利一君

---

欠席議員（なし）

---

欠 員（なし）

---

事務局出席職員職氏名

局長 假屋 昌子	書記 山口 隆雄
----------	----------

---

説明のため出席した者の職氏名

村長 .....	松谷 浩一君	副村長 .....	上薮 宏君
教育長 .....	森 佳寛君	政策審議監 .....	田中真一郎君
総務課長 .....	境目 昭博君	復興推進課長 .....	友尻 陽介君
税務住民課長 .....	蔵谷 健君	保健福祉課長 .....	大岩 正明君
産業振興課長 .....	毎床 貴哉君	建設課長 .....	松舟 祐二君
会計管理者 .....	犬童 和成君	教育課長 .....	高永 幸夫君

---

午前10時00分開会

○議長（舟戸 治生君） おはようございます。本日は第9回定例会が招集されましたところ、定足数に達しておりますので、ただいまから令和5年第9回球磨村議会定例会を開会します。

会議に先立ち、9月定例会以降の行事と諸般の報告をします。

それぞれの行事につきましては、お手元に配付してあるとおりですので、報告書をもって報告に代えさせていただきます。

続いて、9月定例会以降の例月出納検査について、議会推薦監査委員板崎壽一君にその報告をお願いします。板崎壽一君。

○議員（4番 板崎 壽一君） おはようございます。9月定例議会以降の例月出納検査の結果について、ご報告を申し上げます。

令和5年8月、9月、10月分の結果については、報告書のコピーをお手元に配付しておりますが、検査の結果につきましては、それぞれ何ら不正、非違の点は見受けられず、全て適正でありました。

なお、数値等の詳細については、報告書を事務局に備えてありますので、御覧ください。

以上で、例月出納検査の報告を終わります。

---

### 日程第1. 会議録署名議員の指名について

○議長（舟戸 治生君） 次に、日程第1、会議録署名議員の指名について、会議規則第123条の規定によって指名を行います。

本定例会の会議録署名議員は、5番、東純一君、6番、犬童勝則君を指名します。

---

### 日程第2. 会期の決定について

○議長（舟戸 治生君） 次に、日程第2、会期の決定を議題とします。

お諮りします。本定例会の会期は、本日から12月14日までの7日間にしたいと思います。ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（舟戸 治生君） 異議なしと認めます。したがって、会期は本日から12月14日までの7日間に決定しました。

---

### 日程第3. 一部事務組合議会報告

○議長（舟戸 治生君） 次に、日程第3、一部事務組合議会の報告を行います。

まず、人吉球磨広域行政組合議会の報告をお願いします。1番、永椎樹一郎君。

○議員（1番 永椎樹一郎君） おはようございます。人吉球磨広域行政組合議会の報告をいたします。

令和5年第4回人吉球磨広域行政組合議会定例会1日目が、令和5年11月24日午前10時から開催をされました。

日程第1、会議録署名議員の指名では、水上村、12番、杉野久志議員、同じく水上村、13番、杉野貴文議員が指名をされました。

日程第2、会期の決定では、あさぎり町の皆越てる子議会運営委員会委員長報告の後、会期は、11月24日に開会し、12月22日を閉会とする29日間とし、11月25日から12月21日までを休会とすることに決定をいたしました。

日程第3、行政報告では、令和5年第3回議会定例会以降の定例理事会における主な審議等について報告がありました。

日程第4、認定第1号令和4年度人吉球磨広域行政組合一般会計歳入歳出決算の認定については継続でございますが、この案件については、8月25日に開かれた第3回人吉球磨広域行政組合議会定例会において令和4年度決算特別委員会が設置され、同委員会に付託されており、五木村、田山淳士同委員会委員長から認定とする報告があり、質疑、採決を行い、原案のとおり、認定をされました。

日程第5、議案第11号人吉球磨広域行政組合一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について、日程第6、議案第12号令和5年度人吉球磨広域行政組合一般会計補正予算（第2号）、日程第7、議案第13号令和5年度人吉球磨広域行政組合一般会計経費の負担金の総額の補正（第1号）のこの3件では一括して理事会代表理事の提案理由の説明を受け、日程第5、議案第11号及び日程第6、議案第12号については、執行部の補足説明を受けた後、質疑、採決を行い、原案のとおり可決をされました。

閉会日となる12月22日の議事日程については、最初に一般質問を行い、次に議案第13号について、執行部の補足説明の後、質疑、採決を行い、最後に委員会の閉会中の継続調査を諮り、閉会することとし、定例会1日目を散会いたしました。

以上、令和5年第4回人吉球磨広域行政組合議会定例会1日目の会議結果について報告をいたします。

以上です。

○議長（舟戸 治生君） 次に、人吉下球磨消防組合議会の報告をお願いします。5番、東純一君。

○議員（5番 東 純一君） おはようございます。報告をいたします。

令和5年11月22日、人吉下球磨消防組合消防本部議場において開われました令和5年11月第4回人吉下球磨消防組合議会定例会の会議の結果を報告いたします。

会議の結果。

日程第1、会期の決定では、令和5年11月22日、1日と決定しました。

日程第2、会議録署名議員の指名、5番、私、東（球磨村選出）、4番、川辺正美議員（五木村選出）を指名されました。

日程第3、議案第1号令和4年度人吉下球磨消防組合一般会計歳入歳出決算の認定について、歳入の合計、予算現額14億2,289万7千円、収入済額12億8,709万7,122円、予算現額に対する収入済額の比率は90.46%となっております。歳出合計、予算現額14億2,289万7千円、支出済額12億6,734万6,780円、予算現額に対する支出済額の比率は89.07%となっております。歳入歳出差引残額1,975万342円でございます。歳入歳出の主なものとしては資料のとおりとなっております。原案認定をいたしました。

日程第4、議案第2号人吉下球磨消防組合職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について、人事院勧告に伴う一般職の国家公務員に準じた改正を行うもので、給料月額について、ボーナスについて、令和6年度以降のボーナスについて、それぞれ説明があり、原案可決いたしました。

日程第5、議案第3号人吉下球磨消防組合火気予防条例の一部を改正する条例の制定について、人吉下球磨消防組合火気予防条例の一部改正は、対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令及び国が示す火気予防条例の一部が改正されたことから、人吉下球磨消防組合火気予防条例の一部を改正するもの、以上の説明を受け、原案可決されました。

日程第6、議案第4号令和5年度人吉下球磨消防組合一般会計補正予算について、歳入歳出予算の総額からそれぞれ112万2千円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ12億1,215万8千円とするもの。内訳といたしまして、歳入、分担金及び負担金23万4千円の増額、諸収入3万1千円の減額、組合債230万円の減額、財産収入98万9千円の増額、繰入金1万4千円の減額、歳出といたしましては、総務費7千円の増額、消防費959万4千円の増額、交際費22万円の増額、予備費1,094万3千円の減額、歳入歳出の詳細については資料のとおりでございます。原案可決いたしました。

日程第7、消防庁舎建設に関する特別委員会委員長の報告、令和5年8月21日に第11回目、令和5年9月27日に12回目となる特別委員会の概要について報告があり、第11回目の報告として、松岡管理者より、消防本部中央署庁舎移転地につきまして、これまでの事業経過の説明を受ける。第1候補としては調整がつかず、第2候補地である人吉市鬼木町の梢山団地にある市有地を建設予定にすることの報告がある。

続いて、報告事項として、1、本部中央消防署庁舎移転候補地について、2、消防本部中央消防庁舎整備基本計画についての2点につきまして、執行部より報告がありました。1点目の本部中央消防庁舎移転候補地については、移転地を人吉市梢山団地内の人吉市市有の土地に決定したこと、2点目の消防本部中央庁舎整備基本計画の暫定版の説明があり、続いて、12回目の報告、議題が2件あり、1点目、本部中央消防庁舎整備基本計画について、暫定版からの変更の説明が

あります。基本計画については、確定版ということで了承をした。

続いて、2点目の説明について、執行部より説明がありました。移転地が決定し事業を進めていくに当たり、梢山団地内の各企業様に人吉市消防課と説明を実施したこと。今後は、移転地隣接地内の鬼木町と願成寺町内会、人吉市町内会の会長への説明を、人吉市防災課と10月から11月に計画すること。また、その際に使用する資料の説明を受け、了承をいたしました。

以上、人吉下球磨消防組合議会からの報告を終わります。

○議長（舟戸 治生君） 以上で、一部事務組合議会の報告を終わります。

それでは、議案の上程を行います。

---

**日程第4 承認第8号 専決処分の報告及び承認について（令和5年度球磨村一般会計補正予算第8回）**

○議長（舟戸 治生君） 日程第4、承認第8号専決処分の報告及び承認についてを上程します。

本案件について、提出者の説明を求めます。村長、松谷浩一君。

○村長（松谷 浩一君） 改めまして、おはようございます。令和5年第9回球磨村議会定例会の開会に当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

議員の皆様におかれましては、ご多忙の中、ご出席を頂き、ここに第9回定例会が開催されますこと、厚く御礼を申し上げます。

今回の定例会では、承認1件、議案7件を上程させていただきました。どうぞよろしく願いをいたします。

それでは、上程いただきました承認第8号専決処分の報告及び承認について、提案理由をご説明申し上げます。

今回の補正予算は、第2回「球磨川リバイバルトレイルショートin球磨村」の大会開催に伴う補正でございます。

まず、歳出につきましては、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、他自治体で自粛していたトレイルラン大会が開催されるようになったことなどにより、本大会参加者の申込み数が見込みよりも減少したため、実行委員会の収入が減少することとなりましたので、実行委員会に対する負担金を増額をさせていただきました。

歳入につきましては、繰越金を増額しております。

このようなことから、50万円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ76億4,396万2千円として、11月24日に専決処分をいたしました。

ご審議の上、ご承認いただきますようによりしくお願い申し上げます。

○議長（舟戸 治生君） 提案理由の説明が終わりましたので、これから本案件の審議を行います。

ご審議をお願いします。1番、永椎樹一郎君。

○議員（1番 永椎樹一郎君） 1番です。先日開催されましたトレイルラン in 球磨村、私も実行委員でございましたので、開会式あるいは閉会式等々にも出席をさせていただきました。

その中で、今、提案理由がありましたけども、参加者数の見込みが減少したから、今回50万円の補正ということで専決をと。参加者数あるいは完走された方、また、熊本県はもちろんのことですけども、他県の出場者数等々が分かれば教えていただきたいと。

○議長（舟戸 治生君） 教育課長、高永幸夫君。

○教育課長（高永 幸夫君） まずもって議員の皆様方には、大会の準備、それから大会当日の応援、そして各エイドにおけるふるまい食の提供、コースの整備もしていただいた議員の皆様もいらっしゃいます。大変ありがとうございました。この場を借りましてお礼を申し上げます。

永椎議員の質問に対してお答えをさせていただきます。

まず、大会のエントリーにつきましては85名のエントリーを頂いております。実際参加された方は76名でございまして、完走者の数は75名になります。

それから、参加者の所在地といたしますか、住所といたしますか、どこから来られたかというのが、まず熊本県内が一番多くて、54名で63.5%でございまして、福岡県、宮崎県、鹿児島県、長崎県、大分県、九州を中心といたしまして、岡山県、佐賀県、遠くは北海道からご参加を頂いております。

以上でございます。

○議長（舟戸 治生君） 1番、永椎樹一郎君。

○議員（1番 永椎樹一郎君） エントリーが85名として、76名の方が申込み。エントリー、先ほど提案理由にもありましたけども、コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたことにより、ほかの大会がやっぱりしてくるんですね。エントリーの時期、この申込みのエントリーの時期は、いつからエントリーを開始をされたか教えてください。

○議長（舟戸 治生君） 教育課長、高永幸夫君。

○教育課長（高永 幸夫君） エントリーの時期、期間でございまして、令和5年の10月3日から11月5日ということで、約1か月間のエントリー期間を設けまして告知をし、申込みを頂きました。

以上です。

○議長（舟戸 治生君） 1番、永椎樹一郎君。

○議員（1番 永椎樹一郎君） 1番ですけど。エントリーの時期が、これが適当なのかどうかは、まだ私も、すみません、詳しくはございませんけども、1か月前に、この大会に来てくださいと——11月26日だったと思います、開催が。その中で、1か月前にエントリーしてください

ということであれば、熊本県が一番多いんでしょうけども、他県——北海道の方は多分、当日は欠席だったと私思っているんですけども——そういう方達が、1か月前のエントリーで、果たして本当にそれでいいのかどうかも含め、検証が必要だろうと思うんです。

トレイルランの参加者の方に、昨年150名ぐらいだったと思うんですけども、アンケートだったり、あるいは今回は前泊していただいた方に前夜祭ですか、それも計画をしていたけども、参加される方が少なかったので中止になったというようなお話も聞いておりますけども。

先ほどありましたように、私も神瀬ですので、嫁御がおもてなしをしなきゃいけないということで、私も沢見、あるいは蔵谷のちょうどカーブのところにも行って、そして閉会式もしたんですけども。高沢の婦人部を中心、あるいは高沢の男性の方も、あそこの閉会のところにもおられました、商工会の方もいられましたし。そういう方々の協力があってこそ、この大会はなっていくのに、その参加者数とか、いろんなエントリーの時期とか、あるいは、そんなにお金が落ちるのかどうか、落ちたかどうか分かりませんが、キッチンカーあたりも来ておりましたので、森林組合のマスの塩焼きも出ておりましたけども。

そういったのを全体的に含めて、今回のトレイルラン、果たして成功だったのか、課題が残ったのか、最後ですので、そういうのも含めたところで、課長のご答弁いただければと思いますけども。

○議長（舟戸 治生君） 教育課長、高永幸夫君。

○教育課長（高永 幸夫君） 実は来週の金曜日に、トレイルの企画委員会の反省会ということで関係者集まっていたいて、どういった課題があるのか、今後どういった取組をすることによって、たくさんの参加者においでいただいて、そしてまた、この球磨村内にどれだけお金が落ちるのかと、そういったのをいろいろ話合いをする予定でございます。

そのときに数多くのご意見があるかなとは思いますが、まずは、今回参加者が少なかったといえますのは、その理由の一つといたしまして、まずは申込みの最初の期間といえますか、昨年度と比べて、今回の場合は申込みの告知が遅れたということと、期間が短かったということが挙げられると思います。

それから、先ほど永椎議員のほうからもコロナ5類が、というお話があったと思うんですが、それに伴いましてほかの大会も回るようになりまして、近隣では11月12日に福岡でマラソン大会、それから大分の筑後川源流トレイルランが25日に開催されたりとか、錦江湾でもでんしろうトレイルが26日、当日開催されているということで、この辺がバッティングしたということもあると思います。

しかしながら、この申込みの期間をもうちょっと早めにすることによって、球磨村を先に選んでいただくということもあったんじゃないかなというふうに思いますので、そういったところも

来週の企画委員会でいろいろご提案をさせていただいて、改善をしていきたいというふうに思っております。

以上でございます。

○議長（舟戸 治生君） 9番、高澤康成君。

○議員（9番 高澤 康成君） このトレイルラン、先日の教育委員会の会議の社会体育の計画の中に、村の主権の下で計画がなされていたわけです。私自身、これを継続していくということは、非常に今後の球磨村にとっても、いいのかなというふうに思っております。

もちろん、参加者が少なかったから予算的に厳しいと。私の考えは、高沢地区もエイドを担当しました、神瀬の人達も担当していただいた、もちろん職員の方々も協力をしていただけてきたと。課題はそれぞれあると思うんですが、これを村がしっかりと主催をしていくという観点考えた場合に、もちろん私達がエイドを担当して、多分予算は8万とか10万程度でありました。これを、私達は地元の維持費に回す、あるいは老人クラブの活動費に回したりというふうに地域の中で話し合いをしてやっております。

いつも言うように、村が主催をして、お金がないから、どうかこれをお願いしますという考えよりも、このエイドは自分達で任せてくれと、しっかり自分達はここをやるんだという意識づけの中で、支払いが終わった後、そこを自治のお金として運営資金に充てたりとかできるわけなんですよね。

1回目、村長は、これにも参加をされて完走されております。今回は、開会式はおられました、閉会式は多分おられなかったと思います。村でしっかりこのトレイルランをやっていくためには、もちろん募集をかける時期だったり、いろんな課題はあるとは思いますが、職員も、担当職員が一生懸命して、成功させるために夜中中になって計画をしているにもかかわらず、一部の職員あるいは限定された人達だけが参加するような大会になってはいけないだろうと私は思います。

そこはしっかり、村として継続してこの大会をやっていくなれば、もちろん予算も必要だと思います。日本一の大鮎釣り大会、これ商工会の青年部が主催として、多分そのとき100万円ずつお金をやっていたわけですね。これに対して参加者が100人とか200人とか、それからだんだん減ってきて、30人、40人、でも予算は100万円。もちろん、これ頑張って商工会の青年部がやってきて——今はできてはおりませんが——継続していきたいのかどうかという部分に関して、本当に球磨村の熱というのがまだあっていいんじゃないかと。これを利用してモンベルと球磨村が提携をしたという中で、モンベルというのはスポーツであったりとか、服であったりとか、そういう部分のPRができたかという、どうなんだろうかと思うわけです。

やはり、村がしっかりこれを大イベントとしてやっていくなれば、もちろん職員も含め、住民

の方々も含め、予算も含め、しっかり計画をしてやっていただきたい。大丈夫なのかというぐらい心配するまでぎりぎり、職員は夜中中かかってやっているというのを見ておりますので、もう少ししっかり協力できるところは協力し合いながらやってほしいというふうに思います。予算が、50万がどうのこうのじゃありませんが、しっかり予算づけもしながらやっていただきたいと私は思っております。

もちろん、これはどういうふうに球磨村に還元できるのか、選手達がどれだけお金を落としてくれるのかというのがありますが、「かわせみ」の宿泊前夜祭も計画をされていたようですが、なかなかそこが実現できなかったというのも聞いております。やはり整備をしっかり整えながら、いかにそこでどれだけの効果が得られたのかというの、しっかり分析をする必要もあると思いますので、そこはしっかり村として、この一つの事業を村の一大イベントとしてやっていただきたいというふうに思いますので、ぜひそこら辺は村長も考えていただいて、継続できるようにしていただきたいというふうに思います。

○議長（舟戸 治生君） 村長、松谷浩一君。

○村長（松谷 浩一君） ありがとうございます。今、永椎議員、そして高澤議員が言われるように、村としましては、しっかり今後も継続していきたいという考えで今おります。

ただ、今回は参加者も減りましたが、来年に向けては、今、1回目、2回目した反省点がたくさんございますので、それをプラスに生かすように取り組んでいきたいと思っております。

そして、今、村全体としてお金を落とすようなシステムといいますか、そういうのがまだできていないところだと思うんですね。ですから、今回は森林組合を中心に、あそこを使っただいて、お金を落としていただくというふうなやり方ではあったと思っておりますけども、今後はそれを「かわせみ」「さんがうら」でありますとか、球磨村の商店辺り、全てに還元できるような、そういう仕組みが必要だと思います。その辺はしっかりとやっていきたいと思っております。

そして、今度の大会も、今言われるように、神瀬、高沢と、あと、村でいいますと教育委員会を中心というふうな形になってしまいました。これはやっぱり私もいけないといいますか、本来の姿ではないと思っております。教育委員会には、今年反省を踏まえて、来年からはしっかり村全体で作り上げていくという考え方を持っていて、ボランティアでありますとか、そういうのを募った上で準備とかもしていくことにしようということで話しておりますので、これは来年に向けて、しっかりとそういう組織をつくっていききたいと思っております。ありがとうございました。

○議長（舟戸 治生君） ほかにありませんか。4番、板崎壽一君。

○議員（4番 板崎 壽一君） 4番です。今度のトレイルランの分で、トラックセッションの関与度合いはどんなだったですか。

○議長（舟戸 治生君） 教育課長、高永幸夫君。

○教育課長（高永 幸夫君） トラックセッションの関与でございますが、昨年に引き続き、業務内容の一部を専門的な知識があるトラックセッションに委託をさせていただいて、運営の補助をしていただいたところでございます。どうしても事務局サイドではできないような、そういった事柄がたくさんございますので、そういったところをお願いしているところでございます。

具体的に言いますと、それぞれ選手にはGPS機能を持たせてコースアウトしないように、全部パソコン上で監視ができるようなそうしたシステムとか、スタート、ゴールを自動で計測できるようなシステムであったりとか、それからスタートのゲートがございますけど、そのスタートのゲート、それからゴールのゲート、そういったところ、なかなかこちらでは準備できないところをトラックセッションにお願いしたところでございます。専門的なところということで委託をさせていただいて、滞りなく済みました。これも3者以上の見積りを取って、いろいろご提案していただいた中で、トラックセッションを選定させていただいたところでございます。

以上でございます。

○議長（舟戸 治生君） 4番、板崎壽一君。

○議員（4番 板崎 壽一君） 村長が、来年もずっと続けていくというふうなことであれば、トラックセッションの関与度を少なくしていけることはできないですか。どうしてもそれができないというのが、ちょっと分からないんですがね。ゲートなんかも、ずっと続けていかれるんだったら予算を組んで、村でそういうふうなことをしていくというような決意で、そういうゲートを造るということはできないですか。

○議長（舟戸 治生君） 村長、松谷浩一君。

○村長（松谷 浩一君） お答えします。

恐らく、マラソン大会でありますとか、そういうのと違って、山の中を走るということで、GPSでありますとか、いろんな特殊なものが必要だろうと思うんです。ですから、なかなかそれを自治体とか村だけでするというのは厳しいのかなと思っておりますけども、その辺はまた来年に向けて、そういう課題だと思っておりますので、しっかり実行委員会なり何なりで、みんなで協議して、今の板崎議員の意見はしっかりと聞いた上で取り組んでまいりたいと思います。

以上です。

○議長（舟戸 治生君） 3番、宮本宣彦君。

○議員（3番 宮本 宣彦君） 3番です。この大会が開催されて、まだ2回目ということで、参加者が減ったからということで、一概にマイナスのほうに向く必要はないと私は思っております。

しかしながら、今度、企画委員会の中で反省点なり、よかったことなり、具体的なところが話

されると思いますので、将来に向かってこの大会が盛り上がるように、ぜひ強く決意を持ってもらって取り組んでいただければと思っております。

4月から「かわせみ」が、トラックセッションが指定管理者になりましたし、モンベルとの提携になりまして、山間地でのいろんなイベントに関わる連携というのが濃くなってきていると思います。

今までは村だけで、教育委員会の社会体育課で頑張ってやっておられましたけども、やはり外に向かってやっていくと、PRをするといったことが、まず必要だと思いますし、年間を通じてそういうイベントの活性化とか、経済的な効果とかいうものがあると思います。ですから、従来から実施されているイベントの中で、それを継続して進めていくということも含めて検討いただければ私は思いますけども、その点について、村長、教育長、一言ずつよろしくお願いします。

○議長（舟戸 治生君） 村長、松谷浩一君。

○村長（松谷 浩一君） ありがとうございます。このトレイルランにつきましても、先ほども申しましたように、これからもぜひ続けていきたい。2回目、だんだん減ってはおりますけども、あとはいろんな募集のかけ方とかアピールの仕方、そういうものもあると思いますので、しっかりその辺は検討していきたいと思っております。

さっき言いましたように、一つの大会をすることで、それが球磨村に経済効果を波及する、そういった仕組みづくり、これは観光協会でありますとか、そういったところとの連携、そして商工会との連携とか、そういうのがしっかりすることが必要なかなと思っておりますので、次回に向けて、来年に向けては、その辺が課題ということで取り組んでまいりたいと思っております。

以上です。

○議長（舟戸 治生君） 教育長、森佳寛君。

○教育長（森 佳寛君） まずもって、トレイルランの大会におきましては、地域の方々、また、議員の皆様方のご支援ありがとうございました。無事に終了することができ、うれしく思っております。

先ほどから何回も出ておりますが、今回が、昨年の145名に比べると85名というエントリーでした。やはり大会のアナウンス、エントリーの開始が遅れたのが非常に大きかったなと思っております。もう少し早めていかなくちやいけなかったんですけど、そこが遅れ遅れになってですね。

今度、企画委員会がございますけど、参加いただいた方からSNS上でのアンケートが、もう大体集計をしてきております。やはり満足度は非常に高い評価を頂いているところです。ただ、選手の方と私も、あそこのふるまい食のコーナーでいろいろお話をしたんですけど、もっと早く募集をかけていただければ、前日に大分に流れました、今日は鹿児島でも大会があっ

すだったものですから、皆さん方は非常にSNSで情報交換をされているので、球磨村は今年は無かったのかというので、よそに行かれたというのを直接的にお話を聞きましたので、そういうところはしっかりと改善をしていきたいと思っています。

ただ、アンケートのお声の中に、「ふるまい食のオリジナリティー、地域の方との交流、応援など、球磨村ならではの楽しめるすばらしい大会だと思っております」「途中途中で名前を呼んでもらって応援しているところもすごくうれしかったです」「村の方々との距離が一気に縮まるおもてなしでした」「参加されていない方にお勧めできる大会だと思います」「地域の方々の応援がすごく力になりました。今までのレースの中で一番心がほんわかしました」と、たくさん、地域全体で、球磨村全体で大会運営されているというのが参加者の方には伝わっておりまして、「来年も参加したい」という方が9割を超えています。そういう大会でございました。

ただ、先ほどからおっしゃっているとおり、教育委員会の職員とかも非常に時間が過重なといえますか、業務はとてもしんどいものがありましたので、私も本当は中学生とか高校生にもボランティアを募集して、おもてなしとかできる部分で参加をして、球磨村全体、若い世代、そして上の方々にもふるまいなんかに参加してもらおうとか、いろんな形で、皆さんで作り上げていくような大会にしていけば。

復興についても、去年よりもまた復興の様子が見えましたということで、ご意見も頂いていますので、球磨村の情報発信とすれば、すばらしい大会になっていくと思いますので、ぜひそういう形で村全体で作り上げるような大会として継続。

それから、ご意見もあるんですけど、ラフティングとかと組み合わせられませんかとか、そういうのもありますので、ほかのイベントとか観光と結びつけるような大会に持っていければとは思っているところです。

以上でございます。

○議長（舟戸 治生君） 3番、宮本宣彦君。

○議員（3番 宮本 宣彦君） 今、教育長おっしゃいましたとおり、やはりこのトレイルランのみに特化したものでなくて、年間を通じて継続性のあるような村の取組の中の一つというような捉え方でやっていってほしいという希望があります。

といいますのが、さっき言いましたとおり、トラックセッション、そしてモンベルとの契約というふうにして、山岳とかイベントとか関連するところの団体ですので、ぜひ村の観光協会と精いっぱいタイアップしてもらって、そして運営が神瀬の特定の人に負担がかかることがないように、なるべく村全体で取り組んでいくような方法というのを、もう一歩踏み込んでやってもらって、そして交流人口を増やすというようなところにつなげていくというのが重要だと、私は思っています。

ですので、さっき村長、このところだったと思うんですけど、いろんな関係団体と村が、そういう交流人口を増やすための施策というのは考えておられると思いますけども、改めてまたその点について、ご意見をお伺いしたいと思います。

○議長（舟戸 治生君） 村長、松谷浩一君。

○村長（松谷 浩一君） ありがとうございます。

今、議員言われるように、いろんなイベントを単独で、今やっているような感じだと思うんですね。それをいろんな団体とタイアップしてといいますか、協力してすれば、また魅力的なイベントになるんだろうと思っております。そして、さっき私、言い忘れたのは、球磨村は88%が山林でございますので、来年に向けて——これは県とも今から話をしていかなければいけないんですけども——森林サービス産業について、県南地域全体で、その振興ができないかということで今いろんな話が来ておりますので、そういった部分もしっかり使いながら、またほかのイベント等にもつなげていって、今、宮本議員も言われるように村の振興といいますか、産業振興、観光振興につなげていきたいと考えております。

以上です。

○議長（舟戸 治生君） ほかにありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（舟戸 治生君） 異議なしとの発言があっており、ほかに質疑などの通告はありませんので、これから採決します。

お諮りします。承認第8号は原案のとおり承認することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（舟戸 治生君） 異議なしと認めます。したがって、承認第8号は原案のとおり承認されました。

---

**日程第5. 議案第59号 工事請負変更契約の締結について（村道第二田代線道路災害復旧工事（7月災）その2）**

○議長（舟戸 治生君） 次に、日程第5、議案第59号工事請負変更契約の締結についてを上程します。

本案件について、提出者の説明を求めます。村長、松谷浩一君。

○村長（松谷 浩一君） 上程いただきました議案第59号工事請負変更契約の締結について、提案理由をご説明申し上げます。

本議案は、令和4年第4回球磨村議会定例会において議決いただきました村道第二田代線道路災害復旧工事（7月災）その2において、契約金額を370万3,953円増額し、1億

1,337万3,953円に変更いたしたく、球磨村議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例第2条の規定により、議会の議決を求めるものでございます。

今回の変更は、被災箇所が崩壊が進行したことによる軽量盛土工の施工数量の増、それに伴う軽量盛土材の増などにより増額となっております。

ご審議の上、ご決定いただきますようよろしくお願い申し上げます。

---

**日程第6. 議案第60号 球磨村一般職の職員の給与に関する条例及び球磨村一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について**

○議長（舟戸 治生君） 次に、日程第6、議案第60号球磨村一般職の職員の給与に関する条例及び球磨村一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定についてを上程します。

本案件について、提出者の説明を求めます。村長、松谷浩一君。

○村長（松谷 浩一君） 上程いただきました議案第60号球磨村一般職の職員の給与に関する条例及び球磨村一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について、提案理由をご説明申し上げます。

今回の改正は、令和5年度人事院給与勧告、熊本県人事委員会勧告に基づき、月齢給及び期末勤働手当の年間支給率を引き上げる改正を行うものでございます。

いずれの改正につきましても、昨年からの2年連続の引上げとなり、民間給与との格差を解消するため、若年層を中心に給与月額を引き上げる内容となっております。

さらに、テレワーク中心の働き方をとする職員について、光熱水費等の負担軽減することを目的に在宅勤務等手当を新設することとしております。

ご審議の上、ご決定いただきますようよろしくお願い申し上げます。

---

**日程第7. 議案第61号 球磨村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について**

○議長（舟戸 治生君） 次に、日程第7、議案第61号球磨村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定についてを上程します。

本案件について、提出者の説明を求めます。村長、松谷浩一君。

○村長（松谷 浩一君） 上程いただきました議案第61号球磨村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について、提案理由をご説明申し上げます。

今回の制定は、全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律が公布され、令和6年1月1日から国民健康保険被保険者の産前産後期間について

て国民健康保険税の軽減制度が創設されることに伴い改正するものでございます。

ご審議の上、ご決定いただきますようよろしくお願い申し上げます。

---

日程第 8. 議案第 6 2 号 令和 5 年度球磨村一般会計補正予算について

日程第 9. 議案第 6 3 号 令和 5 年度球磨村国民健康保険特別会計補正予算について

日程第 10. 議案第 6 4 号 令和 5 年度球磨村後期高齢者医療特別会計補正予算について

日程第 11. 議案第 6 5 号 令和 5 年度球磨村介護保険特別会計補正予算について

○議長（舟戸 治生君） 次に、日程第 8、議案第 6 2 号令和 5 年度球磨村一般会計補正予算についてから日程第 11、議案第 6 5 号令和 5 年度球磨村介護保険特別会計補正予算については、令和 5 年度の一般会計及び特別会計の補正予算ですので、4 議案を一括して上程します。

本案件について、提出者の説明を求めます。村長、松谷浩一君。

○村長（松谷 浩一君） 一括上程いただきました議案第 6 2 号から議案第 6 5 号について、提案理由をご説明申し上げます。

初めに、上程いただきました議案第 6 2 号令和 5 年度球磨村一般会計補正予算について、提案理由をご説明申し上げます。

まず、歳出からご説明いたします。

各費目の人件費につきましては、人事院勧告による給与改定に伴い関係経費を増額しております。

予算書 12 ページの財産管理費では、グラウンド仮設団地の改修について詳細な設計により積算を行った結果、関係経費が増加することとなったため補正しております。

また、役場庁舎屋上に太陽光発電設備を設置していますが、度重なる落雷等により故障したため、既設の設備の撤去に係る費用を補正しておりますが、今後、脱炭素先行地域事業を活用して新たなソーラーパネル及び蓄電池を設置することとしております。

次に、災害対策費では、都市防災総合推進事業補助金を活用して、総合運動公園内の施設の配置基本計画と合わせて施設設計費を計上するとともに、渡遊水地予定地内の公園整備に係る基本計画策定業務委託料を計上しております。

予算書 13 ページの戸籍住民基本台帳費は、国のマイナンバーカード交付事務費補助金を活用して、カードプリンター更新に伴う関係経費を補正しております。

予算書 14 ページの社会福祉総務費では、低所得の方などに対する介護保険サービスに係る利用者負担助成の申請見込みに応じて、県の補助金を活用し増額しております。

また、児童福祉費では、物価高騰の影響を受けている保育所に対して、物価上昇分の一部を支援する補助金を計上しております。

予算書15ページでは、遊水地内農地の代替地予定となっている尾緑地区の測量設計に必要な関係経費を計上しております。

予算書16ページの道路維持費では、当初予定していた桃原橋架け替え工事は、隣接する河川に仮設の堰堤を撤去しなければ工事ができないため減額する一方で、本事業で活用予定であった道路局所管補助金を活用して、橋梁点検において判定が緊急措置段階と判定された橋梁について、修繕するための工事費を増額補正しております。

予算書17ページの災害復旧費では、村道第二田代線松舟橋災害復旧工事において、架設資材等の単価の見直しや仮設道路の設置に伴い既設頭首工を撤去する必要が生じたため、工事請負費を増額しております。

また、村道第二田代線道路災害復旧工事においても、軽量盛土工法等において発注時の製品単価と工事施工時の製品単価との乖離があるため、差額を増額しております。

さらに、村道横井大槻線道路災害復旧工事では、ガードレールの設置や舗装修繕工事をする必要が生じたため、工事費を増額しております。

歳入につきましては、国県支出金を事業費や交付決定等に合わせ補正するとともに、地方債の増額や繰越金を追加しております。

また、地方債は第3表にお示ししておりますとおり、令和2年発生公共土木施設単独災害復旧事業を増額補正しております。

このようなことから2億1,110万6千円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ78億5,506万8千円とする予算を編成したところでございます。

また、第2表にお示ししております繰越明許費については、令和5年度の山口地区の宅地造成及び避難路整備を県へ委託して実施しておりますが、年度内での執行が完了できないと現時点で見込まれるため、繰越明許費としてご提案を申し上げます。

次に、議案第63号令和5年度球磨村国民健康保険特別会計補正予算について、提案理由をご説明申し上げます。

まず、歳出の総務費につきまして、産前産後期間に係る国民健康保険税の免除措置導入による国民健康保険システム改修業務につきまして委託料を増額しております。

また、保険給付費の一般被保険者における療養給付費及び高額療養費につきまして、支出見込額に合わせて増額をしております。そのほか、資格異動等による一般被保険者保険税還付金を計上しております。

歳入につきましては、保険給付費の増額に伴い、県支出金を増額しております。

また、委託料及び還付金の財源として繰越金を増額しております。

このようなことから、今回は4,245万3千円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ5億

3,724万1千円とする予算を編成したところでございます。

次に、議案第64号令和5年度球磨村後期高齢者医療特別会計補正予算について、提案理由をご説明申し上げます。

まず、歳出の償還金及び還付加算金の保険料還付金において、過年度分の還付金を計上しております。これは、被保険者の世帯における世帯主の過年度分の所得の構成により、当時の保険料額が減少し、保険料の還付が必要になったものでございます。

歳入では、雑入の過年度返還金において、過年度還付金の財源を計上しております。過年度分として歳出、還付した保険料は熊本県後期高齢者医療広域連合へ請求し、村へ返還されることになっております。

このようなことから、今回は10万円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ6,072万6千円とする予算を編成しております。

最後に、議案第65号令和5年度球磨村介護保険特別会計補正予算について、提案理由をご説明申し上げます。

まず、歳出につきましては、総務費において、令和5年度人事院勧告に伴う会計年度任用職員の報酬を増額したほか、地域支援事業においては、介護予防ケアプラン作成に係る委託件数の増加に伴い、介護予防ケアマネジメント業務委託料を増額しております。

また、諸支出金において、令和4年度介護給付費国庫負担金等の確定に伴う返還金を計上しております。

歳入につきましては、国庫補助金の交付決定に合わせて補正し、一般財源として繰越金を追加しております。

このようなことから2,110万1千円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ7億3,312万8千円とする予算を編成したところでございます。

以上、令和5年度一般会計並びに特別会計補正予算についてご説明申し上げます。

ご審議の上、ご決定いただきますようよろしくお願い申し上げます。

---

○議長（舟戸 治生君） 以上で、本日の日程は全部終了しました。

次の本会議は、12月11日午前10時から開きます。

本日はこれで散会します。お疲れさまでした。

午前11時00分散会

---